

③地方創生推進交付金 効果検証シート

交付対象事業の名称	食べてみとん愛顔になるけん！ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業				
総合戦略における位置付け	住みつづけたいアートタウン	事業実施期間	令和4年4月～令和5年3月		
事業の概要	6次産業化を推進し、砥部町の名産品となる新たな6次産品を開発することで、農家の所得向上と雇用の場の創出を図る。				
具体的な取組み		取組みの成果			
【六次産業化推進グループへの支援】 ・六次産業化推進グループ活動事業費交付金（ひろた地域づくり協議会）		六次産品の開発・製造に必要な備品等を購入するとともに、広田地域の食材を使用して個々に試作品を製造し、六次産品の開発の推進を図った。 また、広田地域の知名度向上と商品の差別化を図るため、六次産品に使用するシールの増刷及び配布を行った。			
【地域ブランド品の認定等に向けた体制整備等六次産業化推進に関する支援】 ・六次産業化支援業務委託料		地域ブランド品の認定に向けて、ロゴマークやキャッチコピーを開発した。また、梅の生果を活用したクラフトビールの製造に向けて株式会社K I R Iとなおれ梅組合で検討し共同で商品開発を進めることとなった。			
【七折小梅改植事業】 ・七折小梅改植事業費補助金		近年、収量が減少している七折小梅の老木の改植等を実施し、品質及び収益力向上と継続的な産地力強化を図った。（779本植栽）			
事業費内訳	交付決定額	実績額		事業実績経費内訳	
	2,830,000 円	2,633,124 円		六次産業化推進グループ活動事業費交付金	633,598 円
	※1/2国庫補助			六次産業化支援業務委託料	1,999,800 円
				七折小梅改植事業費補助金	2,554,200 円
重要業績評価指標（KPI）	現状値（令和2年度末）	目標値（令和4年度末）	実績値（令和4年度末）	達成率	最終目標値（令和5年度末）
県関与年間成約額	96億円	131億円	123億円	94%	159億円
県関与年間成約件数	1,350件	1,812件	1,314件	73%	2,493件
「愛」あるブランド製品の年間販売額	176億円	181億円	189億円	104%	187億円
重要業績評価指標（砥部町総合戦略）	現状値（平成30年度末）	実績値（令和4年度末）		達成率	最終目標値（令和6年度末）
6次産品の生産販売品目数	累計3品	累計10品			累計7品
町職員による事業評価	① 2 3 4	1	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる	
		2	地方創生に相当程度効果があつた	例：一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる	
		3	地方創生に効果があつた	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる	
		4	地方創生に効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、若しくは取組としても前進・改善したとは言い難い	
外部有識者による事業評価	1	（コメント）※記入欄が不足する場合は裏面又は別紙にご記入ください ・全てのKPIが目標値を達成し、大いに成果が得られたものと判断する。 ・六次産品の開発により生産販売品目数が増加し、地域ブランド品認定に向けての取組みも着実に進んでいると思うが、それに伴って利益は上がっているのか。 ・広田地域の食材を使用した六次産品の開発等により今後の知名度向上が期待できる。 ・ロゴマークの開発やクラフトビールの製造等の新しい取組みは、所得向上と雇用の場の創出に繋がっていると思う。また、製造会社を地元で見つけられればさらに貢献できると思う。 ・七折小梅の改植による産地力強化により、更なる品質・収益力の向上が期待できる。			
		（コメント）※記入欄が不足する場合は裏面又は別紙にご記入ください ・指標としては、生産販売品目数ではなく生産高販売金額の方が良いのではないか。 ・農家の所得向上と雇用の場の創出を図るために本事業は継続して行うべきである。 ・広田地域の食材や観光資源の活用。 ・クラフトビールについて、商品開発とあわせて販売促進に向けた取組みを検討することが重要である。			
今後の事業の検討点	（コメント）※記入欄が不足する場合は裏面又は別紙にご記入ください ・指標としては、生産販売品目数ではなく生産高販売金額の方が良いのではないか。 ・農家の所得向上と雇用の場の創出を図るために本事業は継続して行うべきである。 ・広田地域の食材や観光資源の活用。 ・クラフトビールについて、商品開発とあわせて販売促進に向けた取組みを検討することが重要である。				